



日	曜日	2月の主な行事予定
1	木	生徒臨休(特色選抜)
2	金	木曜日の授業 45分×6限
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	①②第4回課題テスト
7	水	①②第4回課題テスト
8	木	
9	金	
10	土	②進研早期対策マーク模試
11	日	建国記念日
12	月	
13	火	45分授業
14	水	③登校日
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	英検2次
19	月	45分授業・面談
20	火	45分授業・面談
21	水	45分授業・面談
22	木	45分授業・面談 避難訓練 防災講演会
23	金	45分授業・面談 ③2次対策補習最終日
24	土	
25	日	国公立大前期日程試験開始
26	月	学年末考査時間割発表
27	火	
28	水	賞状授与式 卒業証書授与式予定

家庭学習時間調査期間

2年生は受験勉強を開始しよう！！

1月15日(月)～1月21日(日)の家庭学習時間調査の結果 1月20日(土)に進研模試を実施しました。

	1週間の学習時間の平均	(昨年度1月の調査)	学習時間以上の割合	1日1時間未満の割合
1年生	11.8時間	(10.3時間)	22.6%	28.6%
2年生	10.9時間	(11.9時間)	20.1%	40.8%

大学入試センター試験 平均点中間発表

平成30年度大学入試センター試験が終了しました。今年度は、各科目の難易度が昨年度と大きい変化がありませんでした。3年生の人は、これからは各大学の個別試験が始まります。記述式の試験が主となりますので、解答に自分の解法や考え方をきちんと表現できるような力を養ってください。志望校合格のために大切なことは、「最後まで絶対にあきらめないこと」です。

	満点	本年度平均点(中間発表)	昨年度平均点(最終)	2年前平均点(最終)	本年度-昨年度
国語	200	102.4	107.0	129.4	-4.6
数学ⅠA	100	63.6	61.1	55.3	2.5
数学ⅡB	100	54.0	52.1	47.9	1.9
英語(筆記)	200	125.5	123.7	112.4	1.8
リスニング	50	23.1	28.1	30.8	-5.0
物理基礎	50	32.6	29.7	34.4	2.9
化学基礎	50	31.2	28.6	26.8	2.6
生物基礎	50	36.3	39.5	27.6	-3.2
地学基礎	50	34.9	32.5	33.9	2.4
物理	100	63.2	62.9	61.7	0.3
化学	100	62.1	51.9	54.5	10.2
生物	100	62.4	69.0	63.6	-6.6
地学	100	49.9	53.8	38.6	-3.9
世界史B	100	70.2	65.4	67.3	4.8
日本史B	100	63.9	59.3	65.6	4.6
地理B	100	70.2	62.3	60.1	7.9
現代社会	100	60.4	57.4	54.5	3.0
倫理	100	67.5	54.7	51.8	12.8
政治経済	100	57.7	63.0	60.0	-5.3
倫理・政経	100	73.1	66.6	60.5	6.5
理系	900	575.1	573.9	577.2	1.2
文系	900	562.8	565.4	558.1	-2.6
総合	900	570.3	570.7	570.1	-0.4

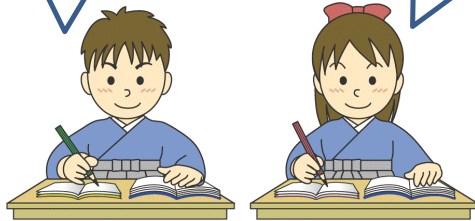
900点満点は英語を、(筆記+リスニング)×0.8=200点に換算

理系、文系、総合点はベネッセ自己採点集計による平均点

いよいよ今年度も残り2ヶ月となりました。1・2年生は、第4回課題テストや3月の学年末考査に全力を尽くし、それぞれの学年の学習面の仕上げをしていきましょう。以上(佐伯)

受験勉強って自分で計画して自主的に勉強することか。そういえば、今までは定期テストのための勉強だけだったなあ。

志望校の過去問を解いて、それを参考に、これからの勉強の計画を立てよう。



1年生	脳科学者、築山節によると、情報は入力されたのに認識はされなかったという現象を、「認識の省略」と呼ぶそうだ。授業を受けたのに、認識を「省略」してしまうと、50分間が無駄になるということだ。「省略」しないためには、ただ授業を聞き流していたのでは駄目だし、反復すなわち復習も当然必要となる。10ヶ月間「省略」なしで過ごせた生徒は、おそらく少数かと思われる。だから模試になるとなかなか点が取れない。あと二ヶ月でできるだけ「省略」した分を取り戻し、明日からは「省略」なしで学習しよう。そして2年生を迎えよう。(田上)
2年生	2年生は、すでに進路目標を決めて頑張っている人も多いと思います。目標は決めただけで予定どおりに進んでいかないという人は、やるべきことが具体的に設定できていますか。脳の働きを考えると、肯定的な言葉で表現し、そこに焦点が当たるようにすることが大切だそうです。「〇〇しないようにする」といった望まない状態を否定する言い方ではなく、こうしたいということ具体的に表現しましょう。できるだけ「…たい」より「…ます」がいいです。例えば「8時まで〇〇をします」等。少し頑張ればできることから。できたことは自信になります。目標までの距離を考え、その間を埋めるステップをイメージして少しずつ近づいていってください。(土橋)